



# 新潟クボタ大豆研究会通信

<NO.20>

(株)新潟クボタ  
ソリューション営業部

平成25年10月17日

## ●新潟クボタ大豆研究会 中間検討会&大豆・畑作機械展示会を開催致しました。

8月6日(火)に燕三条地場産業振興センター様にて、『新潟クボタ大豆研究会 中間検討会&大豆・畑作機械展示会』を開催致しました。お客様、関係者含め約300名の方々からご参集頂きました。

検討会では、新潟県農林水産部経営普及課 副参事 岩津専技様より「普及展示圃及び県内の大豆生育状況と今後の管理」についてご講演頂きました。

ソリューション営業部からは「平成25年度 大豆300Aプロジェクトの取り組みについて」発表させて頂きました。

新潟クボタ大豆研究会の会員であります堺町生産組合様(長岡市)より、新潟県大豆共助会 集団の部 最優秀賞に続き、北陸ブロックでも北陸農政局長を受賞したとの直筆のお手紙を頂いておりましたので、早速皆様にご報告させて頂きました。

(株)クボタ 有原技術顧問から「大豆研究会取り組み5年目 大豆300A達成に向けて」ご講演頂き、その後は(株)クボタ 植木技術顧問をコーディネーターに、実証圃にご協力頂いております(有)グリーンプランツ河間様、新潟地域振興局農業振興部 普及課 澤田様を交えたパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションの後半には、会場のお客様から事前に頂いていたご質問にお答えする時間を設け、皆様の疑問や質問にお答えさせて頂きました。



左から新潟地域振興局農業振興部 普及課 澤田様、

午後の部では、新しい試みとして大塚製薬(株)様から「大豆の良さを知ろう!」ということで、大豆が健康に良いということについてご講演して頂きました。

肥料農薬・活力資材メーカー様のご講演では7社のメーカー様からご講演を頂きまして、ご講演後は商品の説明をさらに詳しく聞いてみたいということで、肥料農薬・活力資材ブースに足を運ばれる方々が多数いらっしゃいまして、大いに賑わっている様子が見受けられました。

機械展示では、大豆関連機械の他、枝豆、玉ねぎ、ねぎ、さつまいも等多岐にわたる品目の機械が展示されました。ご来場誠にありがとうございました。



## ●福岡県より大豆先進地調査団が来訪されました。

9月12日(水)、福岡県より福岡県経営技術支援課様、福岡県福岡普及指導センター様、福岡県京築普及指導センター様の3名様が、大豆新技術の先進地調査ということで弊社を訪ねて来て下さいました。

福岡県は大豆の作付面積、反当たり収量ともに新潟県を上回っていますから、新潟県を訪ねて来て下さり、大変恐縮でしたが、福岡県では、耕耘・畝立・播種を一工程で行うことができるアップカッターロータリー普及率が2%ということで、新潟県の約60%の普及率に大変興味を示していました。

室内で新潟クボタの今年度の取り組みや大豆関連機械の普及率、新潟クボタ大豆300Aプロジェクトについて説明させて頂き、また福岡県の現状についてもお話をさせて頂きました。

その後機械倉庫で大豆関連機械を見て頂き、最後に今年度の実証圃を視察して頂きました。

福岡県では今年、帰化植物のアサガオによる被害が出ているとのことです。新潟では蔓延している圃場はまだそれほど見受けられませんが、アサガオはつるでからみつく為、収穫作業の阻害、大豆汚粒の原因、大豆の生育阻害(生育初期～中期の競合と生育後期に大豆を押し倒す)等の被害があり、蔓延すると大幅に減収します。

**！注意！**



マルバルコウ マルバアメリカアサガオ  
**早期 駆除**



ホシアサガオ マメアサガオ

左の写真のようなアサガオを見かけたらご注意下さい。圃場侵入前に圃場周辺に定着して繁茂していることが多いので、見かけたら開花・結実前に防除して種子生産を防止し、大豆畑への侵入及び地域全体への蔓延を防いで下さい。



機械倉庫での大豆関連機械の説明



今年度実証圃の視察

## ●無人ヘリでの病害虫防除

8月24日と9月4日、実証圃において無人ヘリによる病害虫防除の作業がありました。

両日とも少々天候の悪い中でしたが、無事に終わることが出来ました。

農薬資材区は、他の区が2回防除をするのに対し、防除を1回のみ行いました。この1回の防除で使用した薬剤はプレバソンフロアブル5とアミスター20フロアブルです。9月上旬の病害虫防除が省略出来れば、資材費を削減出来るだけでなく、稲刈り作業の負担も軽減することが出来ます。良い結果が出ることを願います！



だいたいの  
マメシキイガに  
適用拡大！



プレバソンフロアブル5



アミスター20フロアブル

## ●第3回現地研修会を開催致しました。

10月15日(火)、第3回現地研修会を開催致しました。秋作業の終盤でお忙しい中、お客様・関係者含め45名の方々にご参加頂きました。

今年は、播種後の少雨・乾燥、中耕培土時における長雨といったように大豆生産者様にとっては大変過酷な天候であったかと思えます。そのような異常気象の中で、収穫の日を無事に迎えられたことを大変嬉しく思います。

今回の研修会で計3回の現地研修会は終了となります。皆様のご参加大変ありがとうございました。

